

交換会のまとめ

昨年の11月25日〜27日の3日間にわたり、町内6会場で開催された町民と議会の意見交換会での質疑応答の中で、町側から回答が得られたものがありましたので、今号でお知らせします。

防災関係

問 台風10号の際、避難準備情報が出され、長崎の住民は中央コミセンが避難所ということであったが、第7分団屯所前は冠水しており、コミセンに避難するためには危険な場所を通らなければならなかった。避難所の指定がおかしいのでは。

答 避難準備情報発令時の避難所は中央コミセン、旧さくら幼稚園としている。

問 東日本大震災の津波被害から学べることでたくさんあるにも関わらず、しっかりとした検証が不足している。次の被害を出さないためにも、しっかりと検証し、文面等で伝えていくべきである。

答 町民の皆さんの震災体験記を集めた書籍「3・11百九人の手記 岩手県山田町東日本大震災の記録」を刊行した。

問 山田版防災マニュアルを作るなら高齢化等も考慮すべき。何より町民の意識改革を重要視してほしい。

答 広報活動を強化して、意識改革につなげたい。

問 勝山地区には3つ号と温帯低気圧の際にかなり増水した。これらを踏まえて防災マップの見直しを。

答 現時点で把握している河川の浸水域に基づき、行政だけではなく、地区住民の意見を取り入れたものにしていきたい。

問 豊間根小学校の避難所に避難した際、1食分の食料を持参して

ほしいと言われたそうである。このようなときには備蓄されている食料を活用してほしい。

答 避難準備情報の段階では、時間的に余裕があることから各自食料を持参してほしい。備蓄食料は命をつなぐための最低限のものを用意しており、避難が長期に渡る場合は炊き出しや役場からの配給等をするが、各家庭においても日ごろから非常袋に食料を入れ持ち出せるようにしてほしい。このことは今後、広報でお知らせする。

環境整備関係

問 後藤医院向かいの河川には、流路に金網等が一切設置されておらず、子供が落ちたら非常に危険。対策を。

答 流路内に金網を設置すると、河川の流れの妨げになるので設置していない。道路から河川への転落防止を図るために河川に沿って転落防止柵を設置している。

問 大雨の際、第7分団屯所付近で道路に水がたまり大変な状況である。町に聞いても返事が来ないがどうだろうか。

答 台風10号により長崎の第7分団屯所付近の排水不良があったことから、屯所付近に西川へ排水する仮設のますを整備した。今後、歩道整備と併せて本設整備をする。

問 街灯の電球が切れたことを町に伝えても直るまでに2カ月も3カ月も時間が掛かる。何とかしてほしい。

答 電気業者に交換を依頼しているが、他の電気工事等の営業もあるので交換に時間が掛かることもある。街灯の交換は早めに行えるよう電

気業者と協力しながら対応していく。

問 妻の神線の途中に幅員が狭くなっている所がある。改善してほしい。

答 墓地在隣接していることもあり、道路幅員は難しい状況である。

問 大雨が降ると織笠新田地区は道路が冠水し通行不可能となる。特に災害復旧で整備した水田が高くなり、田からあふれた水が道路をふさぐ。排水は大丈夫か。

答 圃場整備により排水の状況が悪くなり道路が冠水することが出てきている。圃場整備を実施した岩手県と排水路の改修等について協議を進めていく。

問 河川の流木を撤去してほしい。

答 大雨による河川の流木については、橋脚等に引っ掛かっているものは撤去済みである。今後、流木が河川に滞